

個人投資家様向け会社説明会

2026年3月19日

Umios 株式会社



小関 仁孝（こせき よしたか）

Umios株式会社(旧マルハニチロ)
常務執行役員

略歴

1991年 株式会社大洋シーフーズ入社

1996年 マルハ株式会社が株式会社大洋シーフーズを吸収合併

2002年 マルハ株式会社 グループ経営本部 経営企画グループ

2021年 マルハニチロ株式会社 事業企画部長

2023年 執行役員 事業企画部長 中央研究所担当

2024年 執行役員 物流ユニット長

2025年 常務執行役員 コーポレート部門副部門長

経営企画部、事業企画部、サステナビリティ戦略部、財務部担当(現)



➤ 会社概要

創業から現在までの歴史、3つの強みと競争優位性、事業概要

➤ 中長期戦略

魚ビジネスの将来性

健康価値の創造により事業展開・持続可能なタンパク質供給

グローバル展開、投資戦略

➤ 株主還元

配当方針、株主優待、直近の株価

この商品、見覚えありませんか？

スーパーなどで目にする機会があると思います。当社グループの看板商品です。

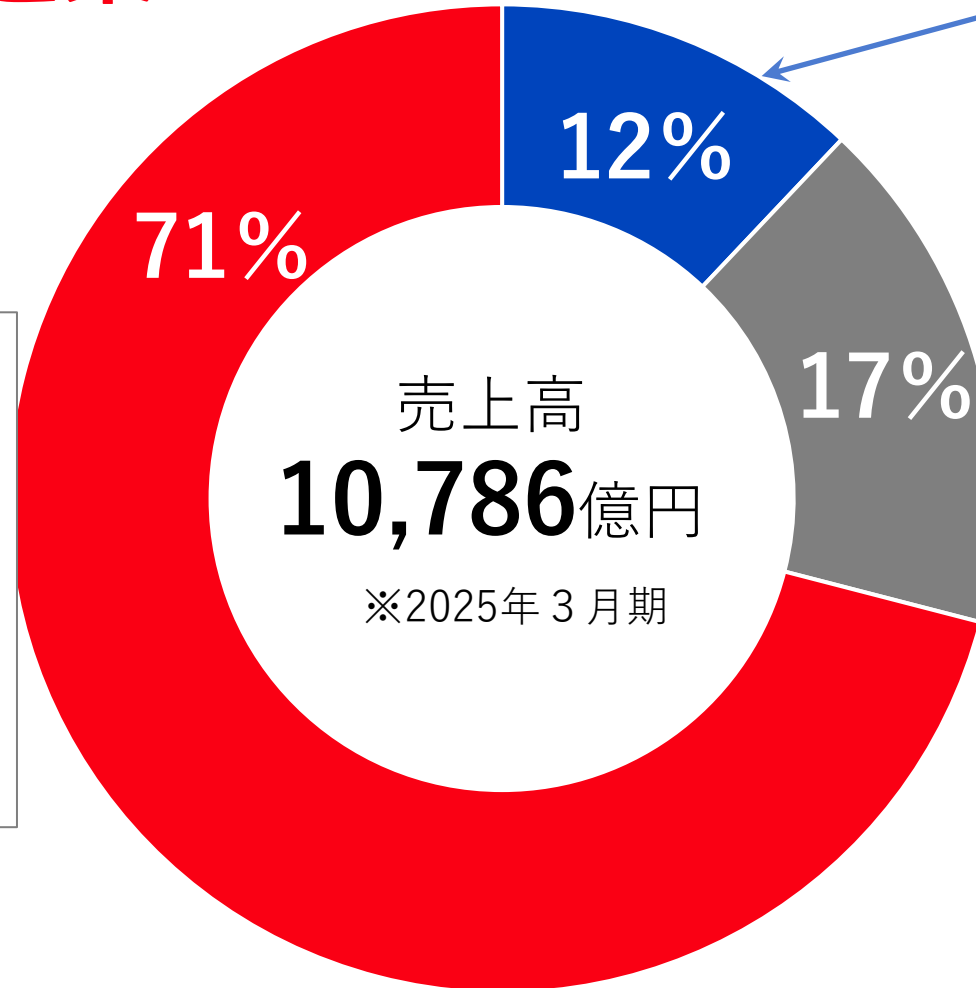


でも、実は私たちの本当の姿は…

メーカー型流通業

食材の調達・
流通・販売・加工
(食材流通セグメント)

水産物や農畜産を世界中から
調達・加工 → 食卓へお届け



漁業や養殖など
(水産資源セグメント)



缶詰や冷凍食品など
(加工食品セグメント)



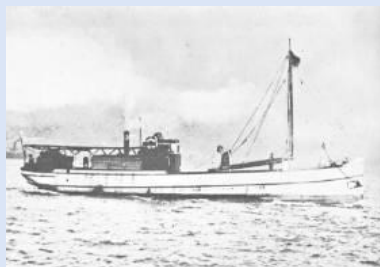
創業から現在まで146年の歴史

水産業のパイオニアであるマルハとニチロをルーツとし、近代漁業と水産加工の礎を築き
水産・水産加工の世界的リーダーに成長

マルハ (漁業)

鮮魚仲買・運搬業
として創業
遠洋漁業に進出

1880



ニチロ (水産加工)

漁業会社として創業
ロシア付近でのサケを漁獲
缶詰に加工して販売

1907



MARUHA NICHIRO

1945

第2次世界大戦後の復興

1977

200海里規制によって
ビジネスを大きく転換

2007

経営統合
総合食品企業へ

次の100年に向けて、私たちは進化します

<取り巻く課題>

地球・海洋環境

海・地球環境

気候変動

事業活動

循環型社会/食の安全・安心

食・いのち

栄養バランス/多様な食文化・
ライフスタイル

<提供する価値>

持続可能な
タンパク質の提供

健康価値の創造



umios

海を起点とした価値創造力で
「食」を通じて
人も地球も健康にする
ソリューションカンパニー
として進化します。

3つの強みを活かし、持続的な競争優位性を実現

資源調達力

- 資源への直接アクセスを可能にする事業構造（特定地域での漁業権を保有）
- 長年に渡り鍛え上げられた養殖技術に支えられたつくる漁業

スケソウダラ全米シェア^{※1}

約 **26%**



食材提供力

- 信頼と専門性の高い目利き力
- 多様な商品カテゴリと顧客起点の多様な販売チャネルへアクセス可能な販売体制

グループ取扱水産物^{※2}

約 **170** 万トン

加工技術力

- 高度な加工技術・商品開発力
- 全温度帯対応の多様な商品群
- 高度な品質管理体制

国内シェア **1** 位
(一部抜粋)



お弁当向け冷凍食品



サバ缶

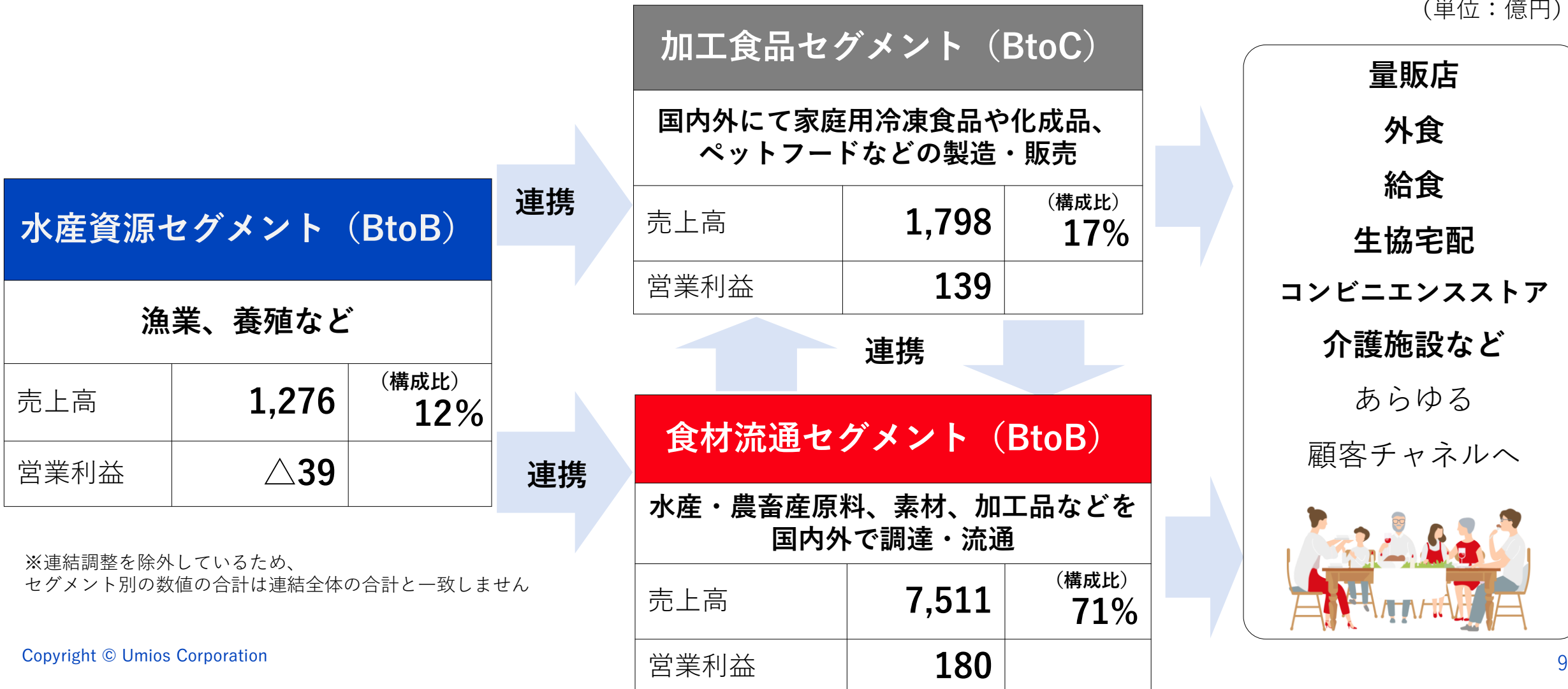


介護食の一分野
やわらか食^{※3}

3つのセグメントで構成する「メーカー型流通業」

水・畜・農産物の調達から流通・加工までを一貫して展開する川上から川下統合型の独自の事業モデルを展開

(単位：億円)

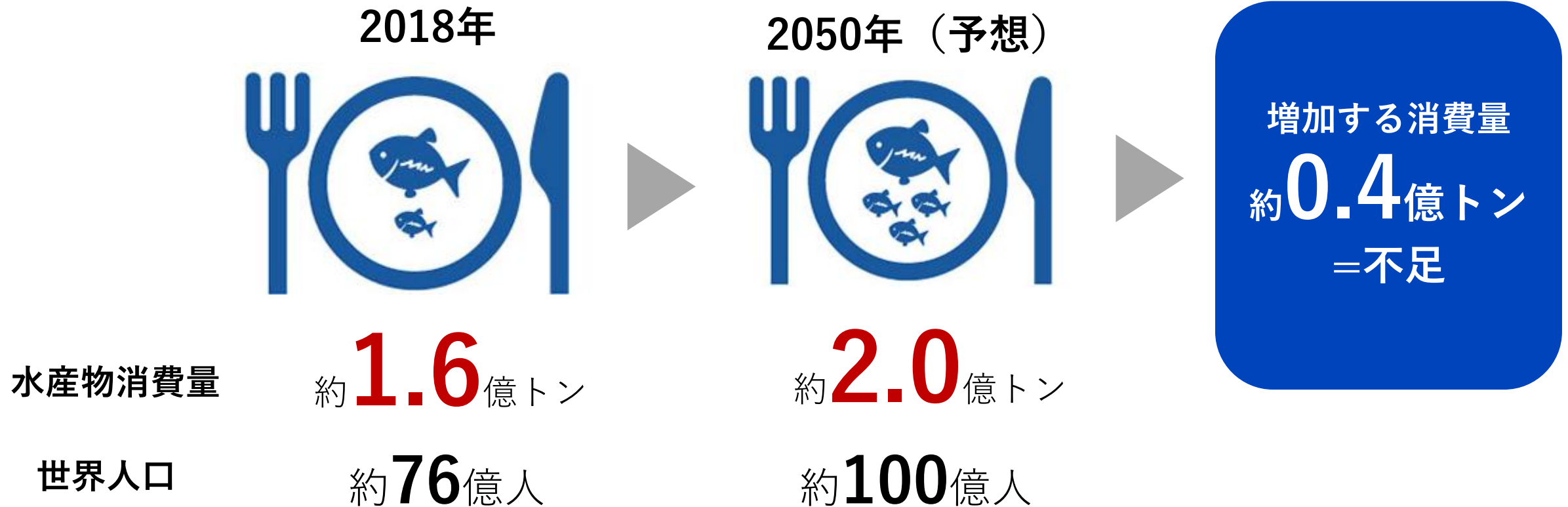


※連結調整を除外しているため、セグメント別の数値の合計は連結全体の合計と一致しません

中長期戦略

世界では良質なタンパク源として注目を集め、2050年には現在より約0.4億トンの消費増が予測

水産物の年間消費量の変化



目指す姿 「持続可能なタンパク質の提供」と「健康価値の創造」を通じて、ソリューションを提案する企業へと変革

営業利益 **400** 億円
成長投資 **1,400** 億円
ROIC **5** %

中期経営計画
2027年度
(2028年3月期)

新長期ビジョン
(10年後)

ROIC **7** %
海外経常利益比率 **70** %
Global競合企業TOP **10**※

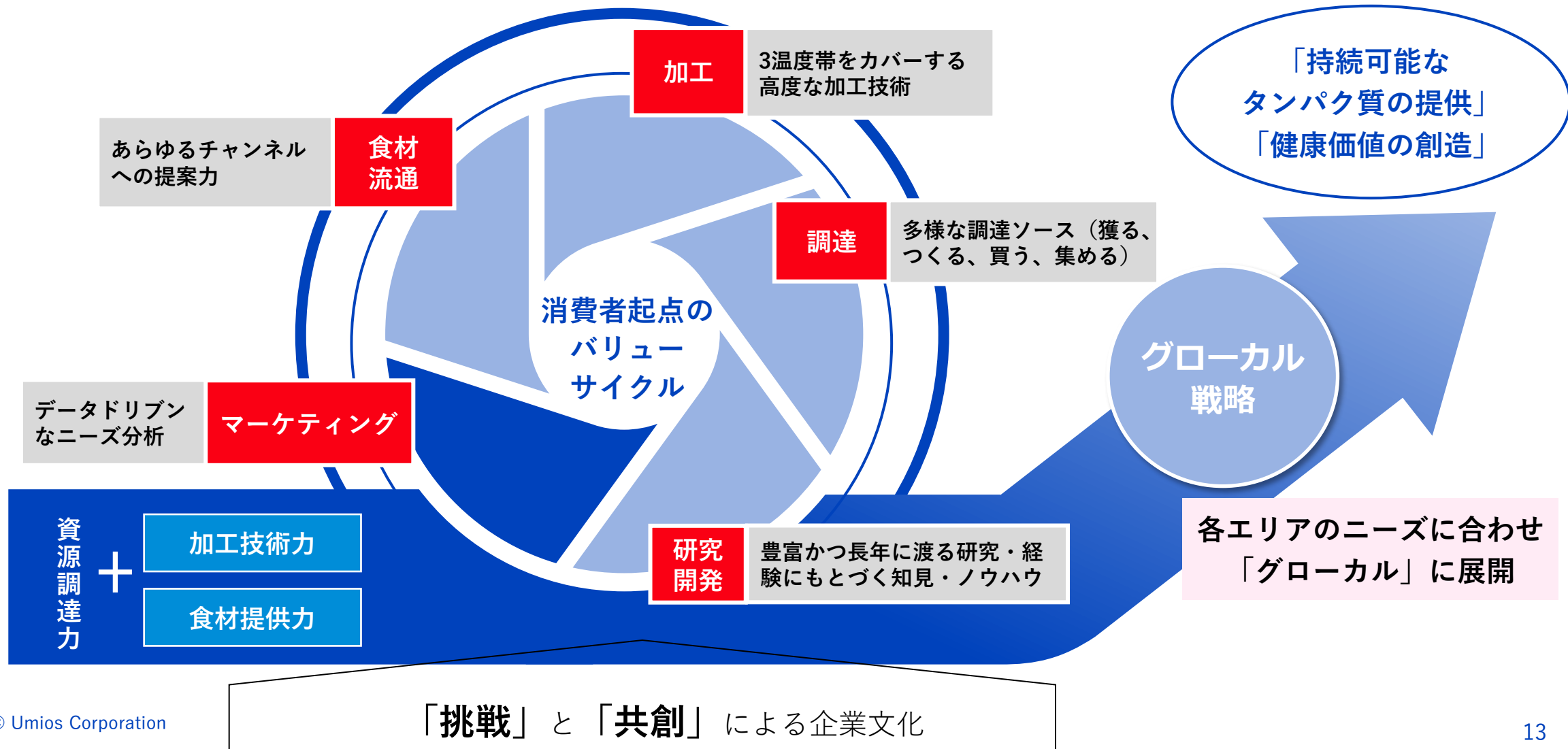
新長期ビジョン
実現に向けた
3つのアクション

①バリューサイクル × ②グローバル戦略
× ③「挑戦」と「共創」

3つの強み

資源調達力 食材提供力 加工技術力

バリューサイクルをグローバルに展開することで成長を目指す



成長領域のご紹介：グローバルに展開する主要なビジネス

※売上高は2025年3月期末

欧州

売上高
1,279億円



2013年～
冷凍水産物トレーディング事業



日本

売上高
7,990億円



漁業、養殖、水産商事
食材流通、農畜産
加工食品、ファインケミカル

アジア他

売上高
814億円

1990年～タイ
ペットフード、缶詰製造販売



北米

売上高
702億円



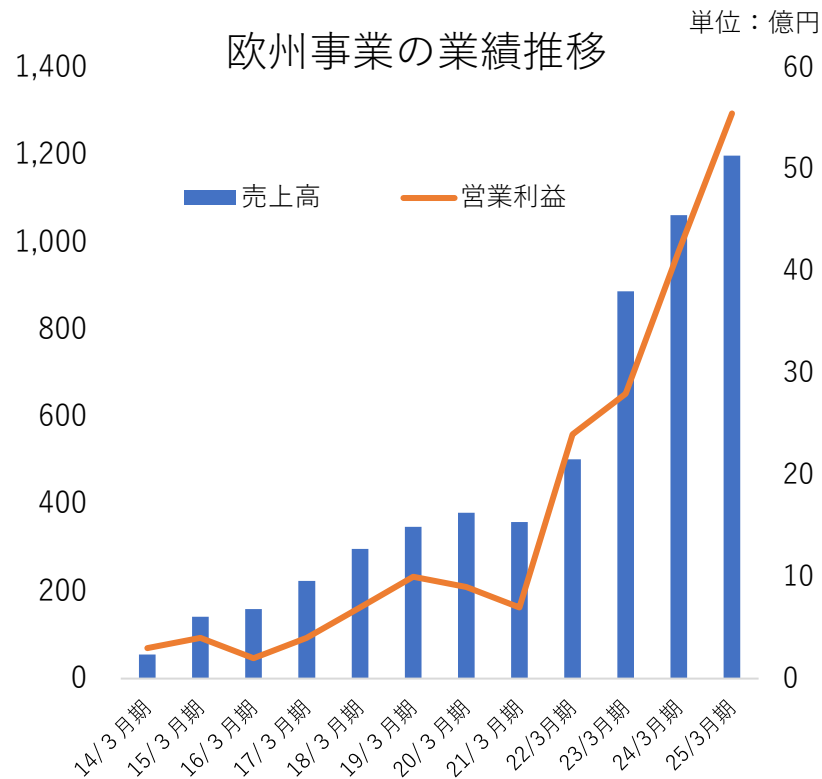
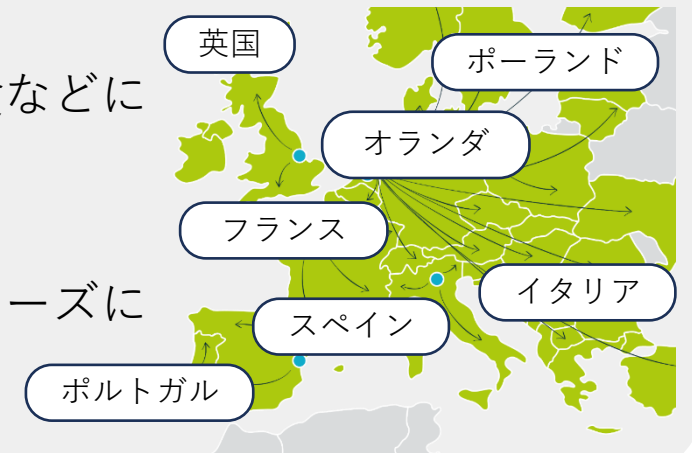
1985年～
スケソウダラなどの
調達・加工・販売

積極的なM&AとPMI徹底により10年間で**売上・営業利益が約20倍**へ

水産資源セグメント
食材流通セグメント
加工食品セグメント

事業概要・特長

- ▶ オランダ拠点、欧州の量販店・外食などに冷凍水産加工品を販売
- ▶ 欧州全域をカバー、最大規模
- ▶ フィレ、アジアン食材など各国のニーズに合わせた多様な商品を取り扱い



年率約5～8%成長が見込まれる世界ペットフード市場の需要を取り込み事業を拡大

水産資源セグメント
食材流通セグメント
加工食品セグメント

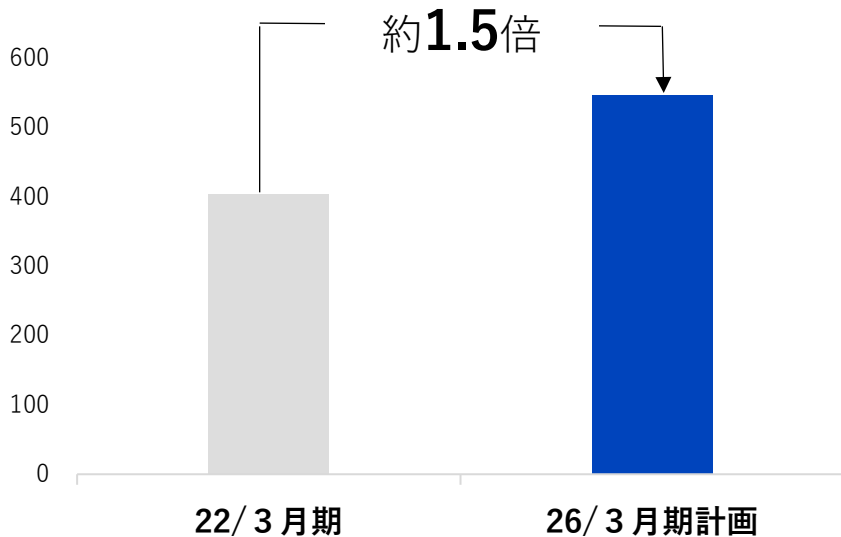
事業概要・特長

- ▶ 日本：自社ブランド（アイシア）を展開
- ▶ タイ：グローバル顧客向けにOEM製造・販売
- ▶ プレミアムペットフード領域で強み

- ① 徹底したトレーサビリティ・原材料管理
- ② 顧客ニーズに応じた製品の生産可能

ペットフード事業 業績推移

単位：億円



AIXIA

ウェットキャットフードで
国内シェアNo.2

※出所：富士経済



2026年3月期-2028年3月期



キャッシュイン



キャッシュアウト

株主還元方針

配当性向 **30%** 以上、**累進配当**

投資比率
(1,800億円)

海外

47% (850億円)

国内

53% (950億円)

成長投資 **1,400** 億円

オーガニック

既存事業の強化
企業変革

インオーガニック

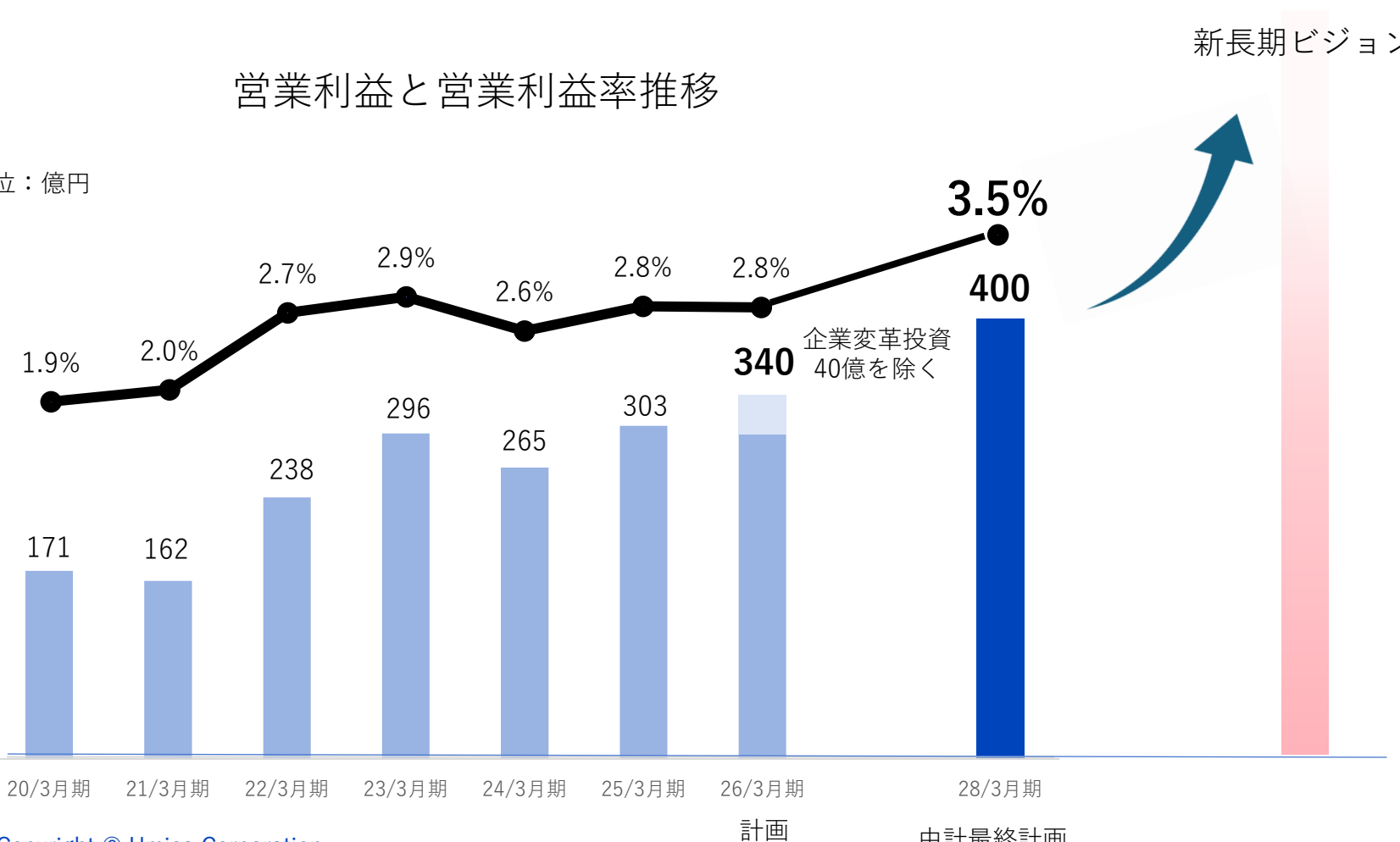
M&A、業務提携
川下領域の事業拡大

中期経営計画で目指す経営指標

中計最終年度に営業利益400億円を達成し、次の成長ステージへの基盤を築く

営業利益と営業利益率推移

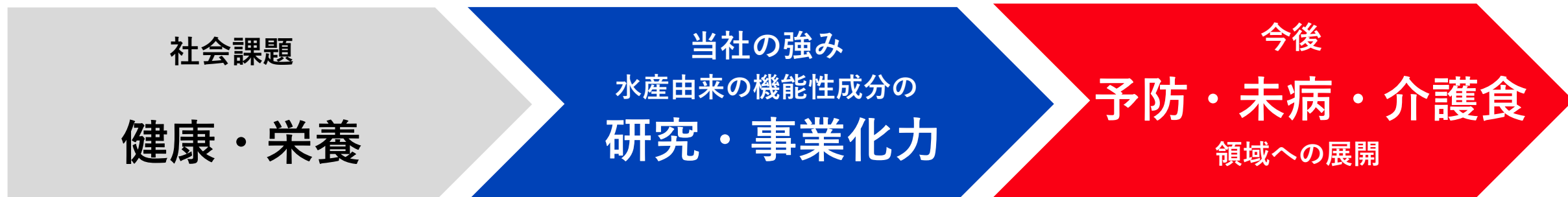
単位：億円



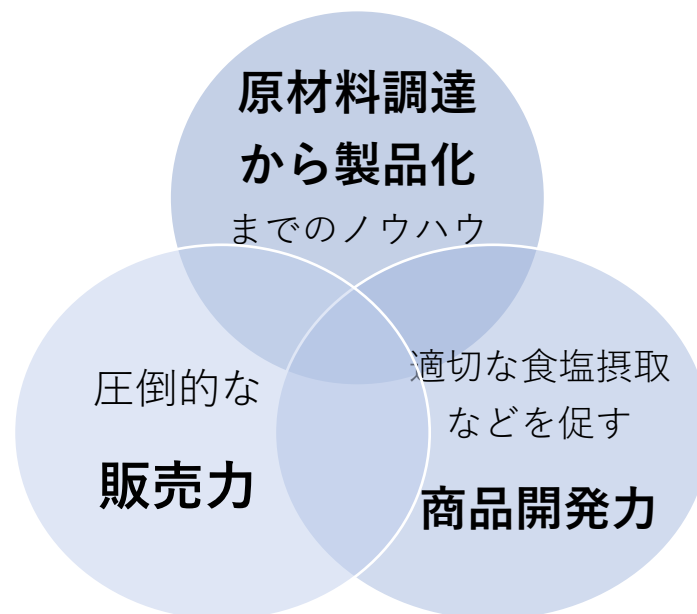
経営指標 (2028年3月期)

- 営業利益 • 400億円
- ROIC • 5%
- 成長投資 • 1400億円以上
- R&I格付 • A-格維持
- 配当性向 • 30%以上 (累進配当)
- PBR • 1倍以上

DHAなどの**機能的栄養**を活用、健康寿命を支える“食”の提供を通じて、社会課題解決に貢献



「健康寿命」へのニーズ
「栄養バランス」の課題



青魚の健康成分 DHAを配合



DHA入り
リサーラソーセージω
(オメガ)



おはだのごちそう
D-HADAいちごヨーグルトゼリー

新しいタンパク源 微細藻類を使用



藻の味噌汁
~スピルリナ~

陸上養殖への参入



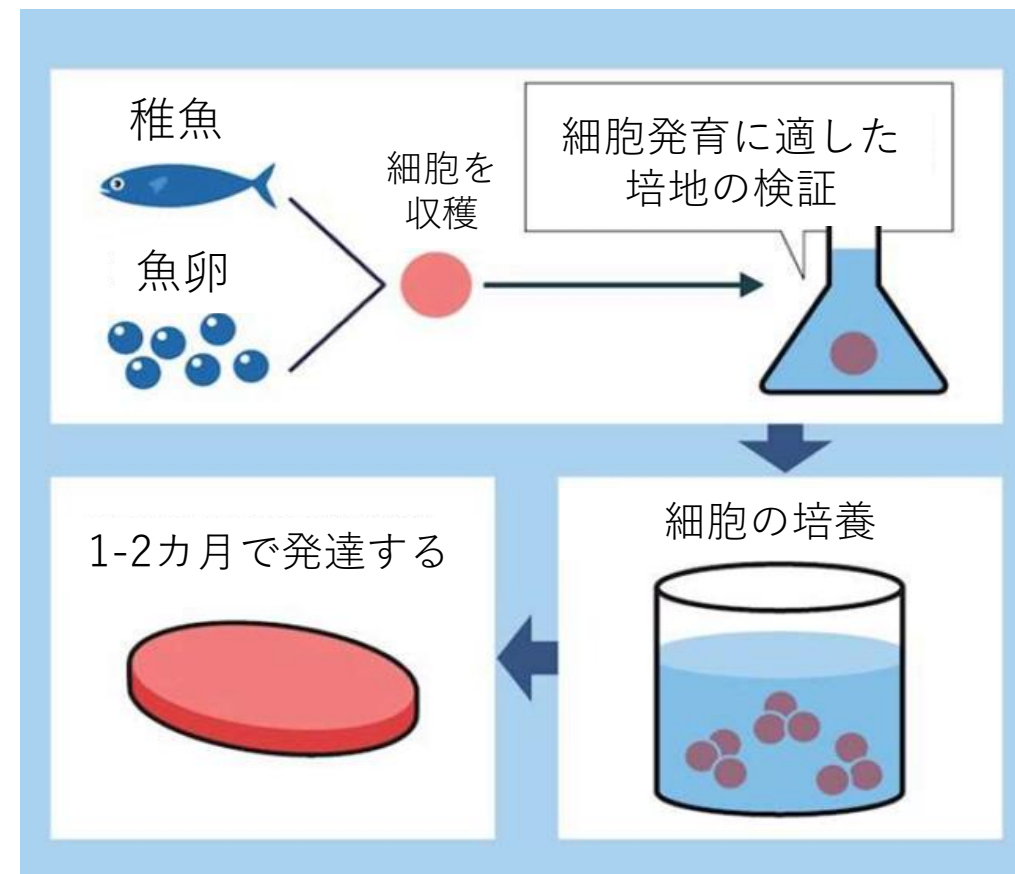
サーモン陸上養殖（富山県入善町）

三菱商事株式会社と
共同事業を設立



▲水槽イメージ

培養魚肉の開発

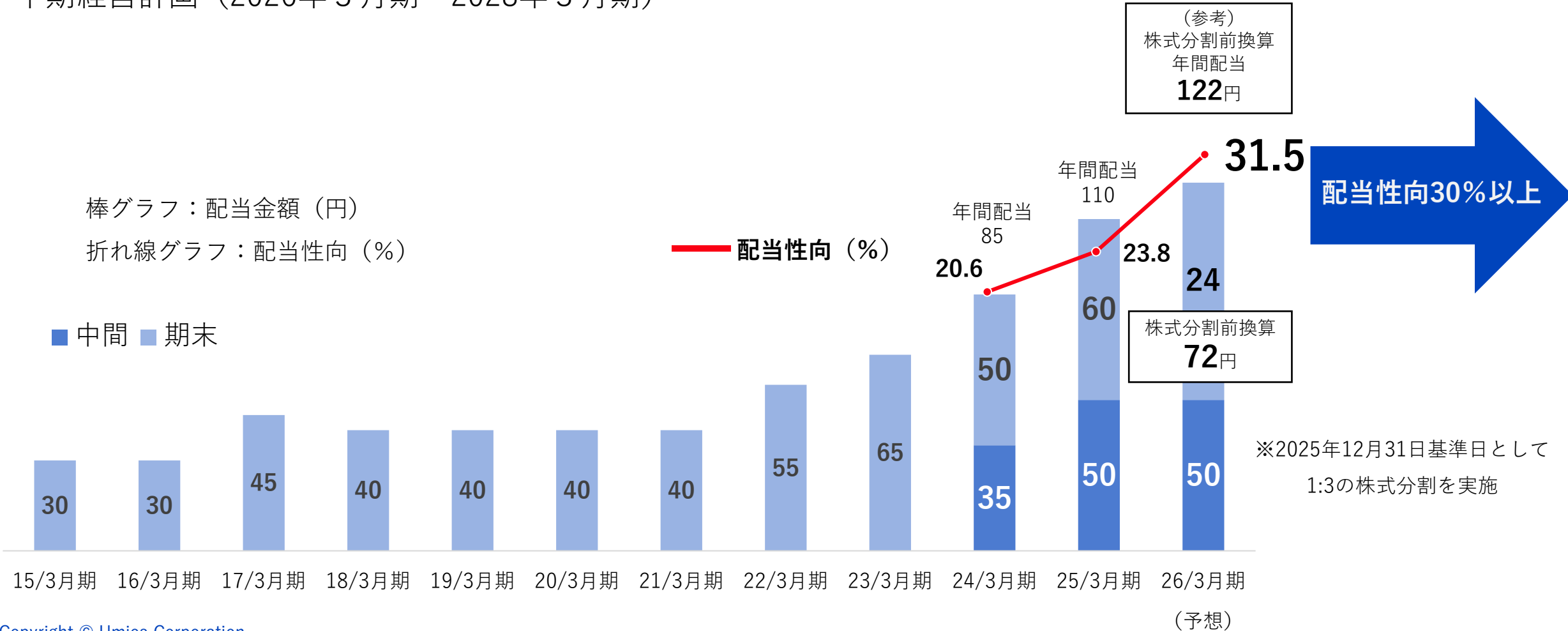


細胞培養マグロの取組み

株主還元

配当方針 配当性向30%以上を前提とした累進配当

中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）



新社名の認知向上およびパーパスへのご理解を目的として、新社名記念株主優待（期間限定）を導入

【優待内容】

保有株数に応じて下記の優待品を進呈	
100-499株	Umiosオリジナルデザイン ギフトカード（Quoカード） 500円分
500-999株	当社商品 3,000円相当
1,000株以上	当社商品 5,000円相当



当社商品3,000円相当
（機能性食品詰合せ、缶詰詰合せなど）



当社商品5,000円相当
（冷凍水産物、缶詰詰合せなど）

※上記はすべてイメージです
※優待内容は予告なく変更となる可能性があります

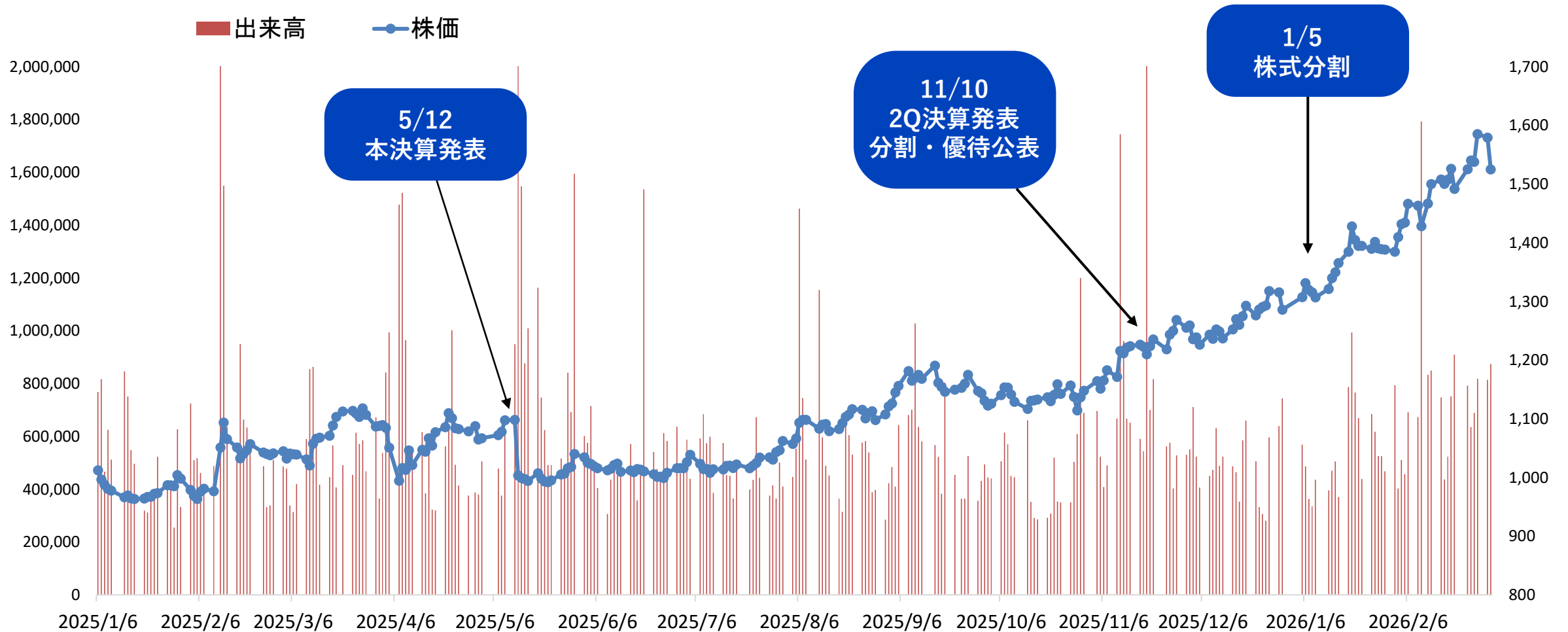
対象：2026年3月末現在で当社株主名簿に記載、または記録された100株以上保有されている株主様

お申込み時期：2026年6月上旬頃を想定

株価と出来高の推移



➤ 2025年5月以降株価は堅調に推移し、2/27には1,589円（分割調整前4,767円）と上場来高値を更新

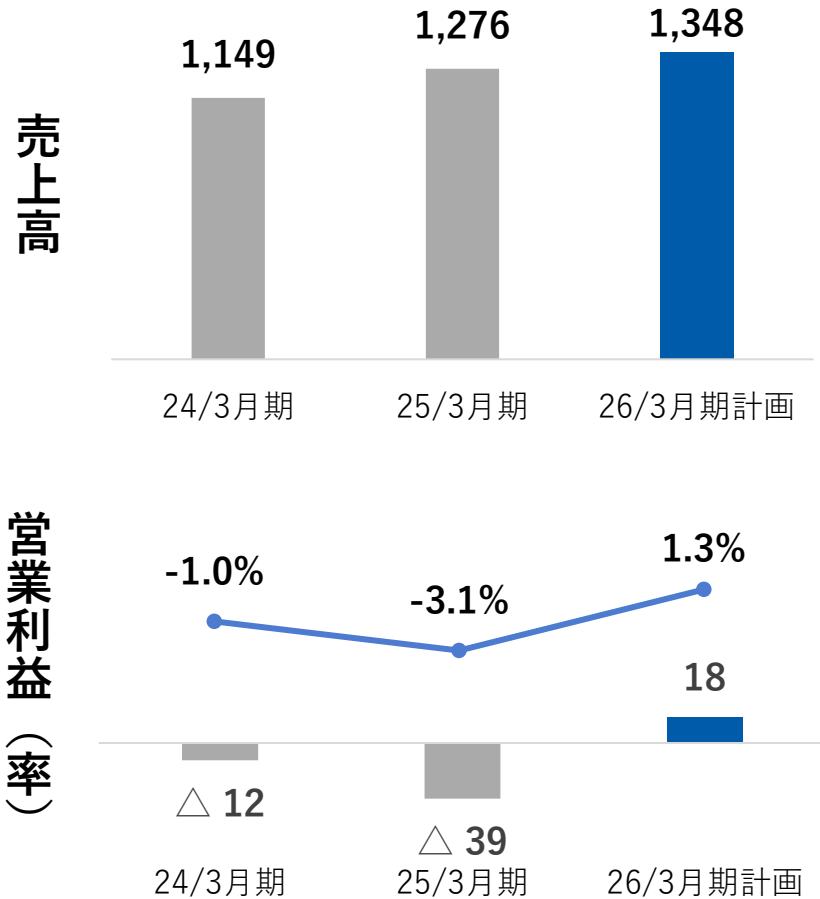


Thank you

Appendix

業績推移

(単位：億円)



ユニット構成

(%は売上構成比率)

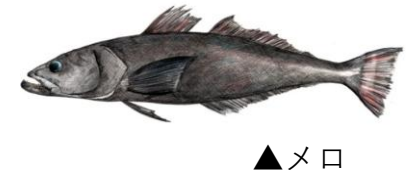
北米ユニット (56%)

米ベーリング海で漁獲したスケソウダラをすりみ・フィレなどに加工主に北米・欧州・日本へ販売



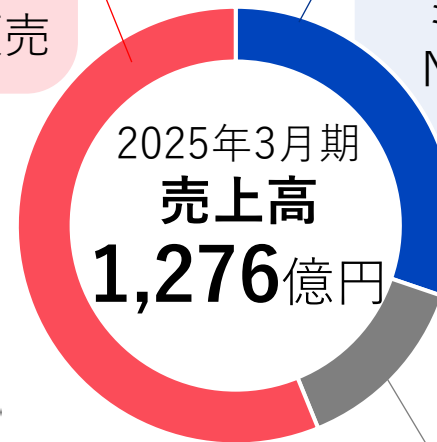
漁業ユニット (30%)

世界各地で漁業
豪州 (メロ)
ミクロネシア (カツオ)
NZ (イカやアジなど) ほか



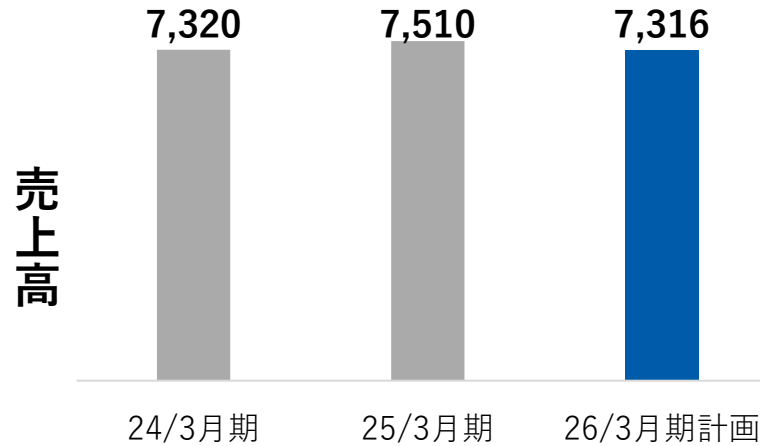
養殖ユニット (14%)

取扱数量 **1万1千トン**
日本国内で**14の養殖場**を展開
・国内シェア**No.1**：クロマグロ**28%**、カンパチ**10%**
・国内シェア上位：ブリ

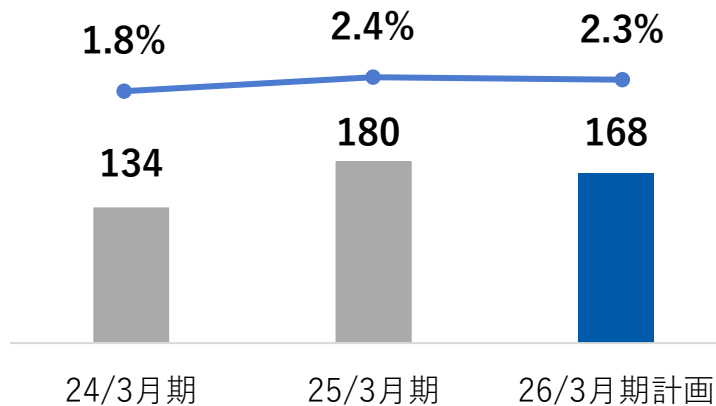


業績推移

(単位：億円)



営業利益 (率)



ユニット構成

(%は売上構成比率)

農畜産ユニット (12%)

世界中から
農産・畜産物を調達
国内向けに販売



水産商事ユニット (56%)

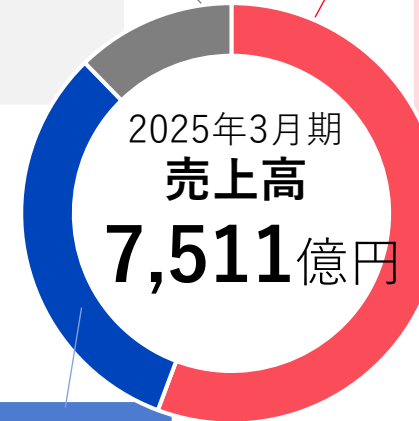
(国内) 水産物の輸入・販売
と卸売市場での荷受事業

(海外) 欧州全域で水産物の
輸入・販売



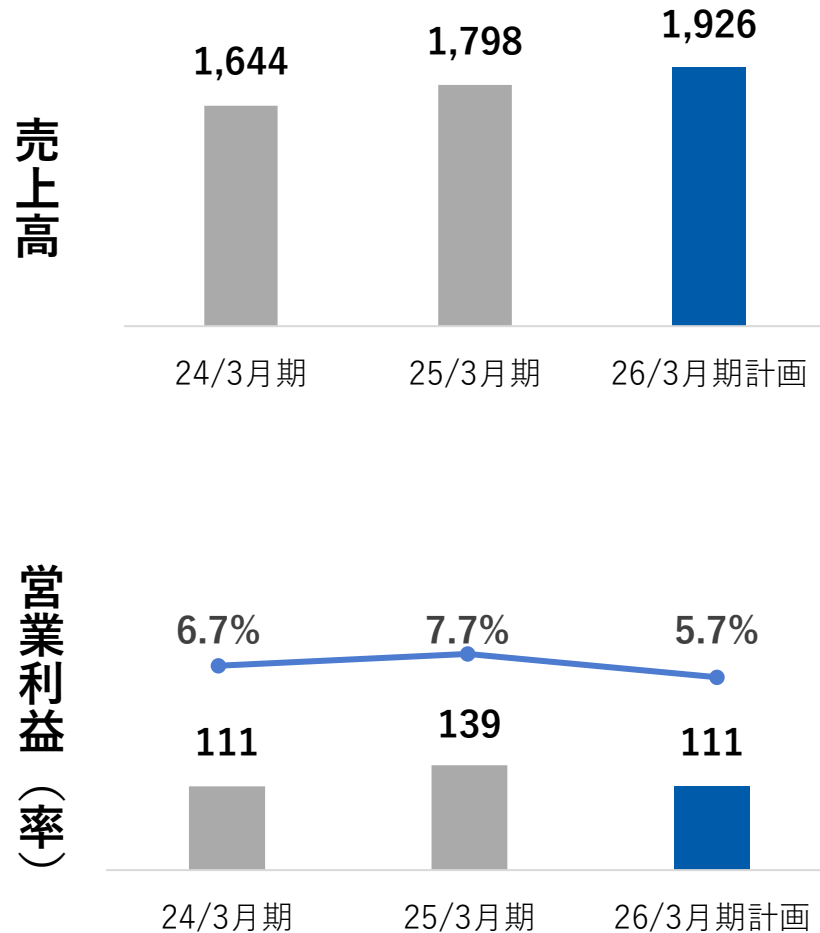
食材流通ユニット (32%)

国内の外出、給食、量販店、生協、
コンビニなどあらゆるチャネル向け
に、水産物をはじめ多様な食材を加工、
販売



業績推移

(単位：億円)



ユニット構成

(%は売上構成比率)

ファインケミカルユニット (4%)

水産由来のDHA・EPAなど
医薬品素材や健康食品素材、
化粧品素材などを提供



2025年3月期
売上高
1,798億円

加工食品ユニット (96%)

(国内) 冷凍食品・缶詰・フィッシュソーセージ・
自社ブランドペットフードなどの製造・販売

(海外) ペットフード (OEM) などの製造・販売

